

鎌ヶ谷市政策評価表

政策の名称	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります		
基本目標	1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	政策担当マネージャー	生涯学習部長
重点政策該当有無	○重点政策	マネージャー氏名	山崎 正史

I 改革・改善内容(≡政策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	(1)児童生徒の学力向上や、学校と家庭、地域社会と一体となる教育活動、また、教職員の更なる育成に継続して取り組みます。 (2)老朽化した義務教育施設の適切な維持管理を行うとともに、校舎の外壁や屋上防水工事、トイレの洋式化等、計画的な補修改修工事を行います。 (3)児童生徒の健康管理や、通学路の安全対策について継続して取り組むとともに、学校災害については、更なる安全指導の徹底に加え、学校による災害分析(原因・予防)をしっかり行うことで災害の発生防止に努めます。	③改革・改善内容	(1)新学習指導要領(平成32年度から小学校、平成33年度から中学校)の完全実施に向けた移行期間の取り組みの充実を図ります。また、若年層教員の増加、ベテラン教員の大量退職に伴い、教職員の指導力向上に向けた研修会の充実を図ります。 (2)児童生徒の教育環境及び学校生活環境の向上を図り、老朽化している小中学校施設の維持補修事業を計画的に実施します。 (3)児童生徒の健康と安全の確保はもとより、教職員の多忙化解消についても対応を図ります。
②①に基づく取り組み結果	(1)新たな教育課題に対応する研究校を指定し、重点的に取り組むとともに、研究成果を他校や地域に広めるなど研究の充実を図りました。また、平成29年度は「鎌ヶ谷市いじめ防止基本方針」を策定し、早期発見・早期対応の一助としました。 (2)中部小学校のトイレ改修事業は、国の補正予算を活用し、実施計画1年前倒しして校内全トイレの洋式化・床の乾式化を実施することができました。国の補助金が活用できたことにより実施計画で予定していた小学校のトイレ改修事業も繰り上げて実施することができ、その他の維持補修事業も計画通り実施しました。 (3)健康診断の結果に基づき、受診勧奨や学校生活上の指示・助言等適切な措置を講じました。また児童生徒の登下校の安全安心については、平成29年度に県の補助金を活用し、民家や人通りの少ない通学路に市内17台の子供見守りカメラを設置しました。さらに、安全パトロールの強化や多くの市民に子どもたちを見守ってもらえるよう「かまがや83+運動」を展開しています。		

II 政策の目的・概要

①目的	対象	子ども	意図(対象をどうするのか)	子どもが人間性豊かに、かつ、たくましく健全に成長しています。
②政策の概要	人間性豊かな子どもの育成環境をつくるため、幼児教育、義務教育の充実、青少年の健全育成、児童生徒の健康と安全を確保します。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	全国的な児童生徒に関わる事件事故が多発し、児童生徒の安全確保に対するニーズが高まっています。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28～29年度の施策の成果	(1)五本松小学校の児童数の増加に対応した普通教室棟(4教室)及び特別教室棟(図書室・音楽室)の校舎整備を完了しました。また、小学校のトイレ改修事業の1校目で国の補正予算を活用することができ実施計画1年前倒し、校内全トイレの洋式化・床の乾式化を実施することができました。今後、順に小学校のトイレ改修事業を行っていき実施計画繰り上げとなる良いスタートを切ることができました。 (2)特別支援教育推進指導教員(ほほえみ先生)は、平成28年度には成果目標値の14人を上回る17人、大規模校に複数配置をし、LD、AD、HD、高機能自閉症等の児童生徒に教育的支援を行い、一人ひとりのニーズに応じた「個別支援計画」を策定し指導・支援を図りました。 (3)平成29年度から家庭訪問相談員を配置し、不登校児童生徒への支援をしました。担任と連携をとり、定期的な家庭訪問をすることで「学校生活」への意欲を持たせることができ、平成29年度は不登校児童生徒出現率も下がり成果が表れています。
------------------	---

②施策成果指標	指標名称		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	目標値(32年度)
	1	市内幼稚園児・保育所児童数		人	3,559	3,565	3,601	3,537
2	少人数指導教員配置数	人	14	14	14	14	14	
3	特別支援教育推進指導教員配置数	人	16	17	17	17	14	
4	不登校児童生徒出現率	%	1.2	1.0	1.4	1.2	0.5	
5	義務教育施設耐震化率	%	100	100	100	100	100	
6	学校災害件数の割合	%	6.1	6.3	6.3	6.0	5.0	
7	子ども安全メール登録者数	人	5,786	4,784	5,543	5,528	7,000	
8	学校給食残菜率 新計量方法	%	25.4	25.4	22.7	20.3	12.0	
9	オープンカレッジかまがや参加者数	人	688	632	384	609	1,200	
10	地域見守り活動従事者数(延べ)	人	1,187	1,161	1,234	1,405	1,300	
11	ジュニアリーダーズクラブ新規加入者数	人	8	9	2	17	3	
③政策の事業費	平成28年度決算	平成29年度決算	市民一人あたり事業費(29年度決算)		平成30年度予算			
事業費(千円)	2,074,383	2,455,238	22		2,456,442			

IV 評価・検討

①課題	(1)子どもの「生きる力」を育てる観点から、学力・体力の向上、いじめや不登校対策、児童生徒の安全確保など、学校教育の充実を努めます。 (2)老朽化している義務教育施設の計画的な改修工事を進め長寿命化を図るとともに、維持補修を行い教育環境の整備に努めます。		
②総合評価	3一部未達成	③総合評価の理由	施策の成果指標の目標値に達していない項目が5項目(11項目中)あり一部未達成としました。5項目については、未達成ではありませんが、いずれも29年度は向上してきている状況です。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑ 向上	②コストの方向性	↑ 増加
③特に重点化する施策	施策2 生きる力を育てる義務教育の充実		
④上記方向性の説明	新学習指導要領(平成32年度から小学校、平成33年度から中学校)の完全実施に向けた取り組みの充実と児童生徒の安全安心の取り組みの推進。また、義務教育施設耐震化率100%及び全小中学校の空調設備の設置は既に完了しているものの、老朽化が進行しており計画的に改修工事を進め長寿命化を図ることが喫緊の課題です。		